

和解への道

国際シンポジウム

「日中戦争の再検討」

近代日中関係史の史料状況が大きく変わり、国境を越えた学術交流が拡大した昨今、戦後国際関係に決定的な影響を遺した、日中戦争をめぐる研究も目覚ましい変容を遂げてきた。東アジアに於ける「歴史和解」が多様な学問領域で議論されているなか、日中戦争史研究は如何なる学問的貢献を為すことができるのか。日本、中国大陸、台湾の研究者が一堂に会し、最新の研究成果を披露し、歴史的視角から、「和解」と「平和」への路線図を提示する。

2016年12月23日(金) 10.00~18.00
2016年12月24日(土) 9.00~16.00
@ 早稲田大学 22号館 8階会議室

使用言語: 日本語 | 参加無料
参加申込方法

patt_tangsin@hotmail.com宛にメールを送信。
件名を「12/23-24和解への道」とし、本文に

①お名前 ②フリガナ ③所属 ④メールアドレス ⑤電話番号、を入力の上、送信ください。
問い合わせ先: 黄斌 bean@aoni.waseda.jp

報告者

日本の研究者:
相澤淳、麻田雅文、浅野豊美、加藤聖文、澁谷由里、
姜克實、沈潔、田嶋信雄、段瑞聡、塚瀬進、戸部良一、
波多野澄雄、服部聡、馬曉華、光田剛、森久男、劉傑、
劉建輝、鹿錫俊

海外の研究者
楊大慶(米)、楊彪(中)、張連紅(中)
黃自進(台)、王文隆(台)

主催

早稲田大学東アジア国際関係研究所
台湾中央研究院近代史研究所
大阪教育大学
トヨタ財団・科学研究費助成事業(課題番号15H03486)